

## おべ様が行く！（西北地域県民局の巻 その3）



よしや君：わー、すごい大きな船だー！

おべ様：この船はね、海で工事をするとき活躍する作業船だよ。よしや君は、冬の初めに西海岸でハタハタがいっぱい獲れてるのは知ってるかな？この船は、そのハタハタが卵を産み付けるところ、つまり産卵場を造っているんだよ。

よしや君：へー。ハタハタは卵を産むんだー。どんな場所に産むんだろー。海の中はどうなっているのかなー？知りたいなー。

おべ様：それじゃー、鱒ヶ沢町の拠点館に行ってみよう。海の環境を良くしようとがんばっている人たちが、今日、勉強会を開いているんだ。工事の内容や海藻、ハタハタの話をしてくれるよ。



おべ様：さー着いたぞ。「日本海拠点館あじがさわ」だ。もう始まっているみたいだね。この勉強会はね、漁師さんや鱒ヶ沢町に関係する人たちが、ハタハタが産卵するための海藻でいっぱい茂っている藻場を造っていて、子供たちといっしょに藻場の大切さを勉強しているんだよ。

よしや君：みんな真剣に勉強しているー。でも、なんで藻場がそんなに大切なのか？

おべ様：ハタハタはね、海藻に卵を産み付けるんだ。海藻が少ないとハタハタは困っちゃうんだ。さー、いろんな写真が出てくるからいっしょに勉強しよう。



よしや君：海岸にいっぱい打ち上げられているものはなに？

おべ様：「ブリコ」って呼ばれているハタハタの卵だよ。きみも「ブリコ」って聞いたことがあるだろう。この卵はね、このままだとハタハタの赤ちゃんが生まれてこないんだよ。とても悲しいね。

よしや君：かわいそうに、なぜこんなに海岸いっぱい打ち上げられてるの？

おべ様：海藻が少ないからだよ。ハタハタは海藻に卵を産み付けるんだ。だから海藻に産み付けられなかった卵が、こんなふうに岸に打ち上げられてしまうんだよ。

よしや君：どんな海藻に卵を産み付けるの？海藻を見てみたいなー。



**おべ様**：ほら、これが「ホンダワラ」っていう名前の、ハタハタが好んで卵を産み付ける海藻だよ。

**よしや君**：すごいわねー。1メートル以上の大きさだね。

**おべ様**：この海藻は9月頃から成長し始めて、次の年の6月頃には枯れて流れちゃうんだ。でもね、その年の12月頃には、またこうやって成長するんだよ。

**よしや君**：海藻がないと、ハタハタは卵を産み付けられないの？

**おべ様**：そうなんだ。ハタハタは海藻じゃないとだめなんだ。

**よしや君**：それじゃー、海藻がないとハタハタがかわいそうだよ。



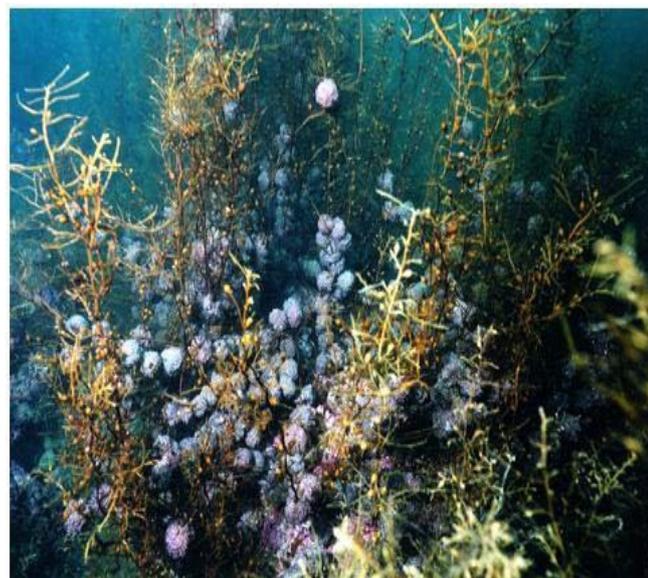
**おべ様**：そうだね。だから、この勉強会を開いている人たちが、海藻がいっぱい茂っている藻場、つまり漁場を造ってるんだよ。この写真が、その漁場の写真だよ。

**よしや君**：えっ、白くて四角っぽいものが、いっぱい並んでるだけだよ。海藻がぜんぜんないよー。

**おべ様**：これはね、海藻が付きやすいコンクリートブロックを鰯ヶ沢の海中に置いている写真なんだ。海底が砂場だと海藻は付かないんだよ。この白い部分にホンダワラが付くのさ。

**よしや君**：それなら、海藻で鰯ヶ沢の海はいっぱいになるね。

**おべ様**：そうだよ。この漁場は東京ドームのグラウンドくらいの広さになるらしいよ。



**おべ様**：ほら、これがホンダワラにハタハタが卵を産み付けた写真だよ。冬の鰯ヶ沢の漁場はブリコでいっぱいになるんだよ。

**よしや君**：ハタハタの子供がいっぱい海を泳ぐんだね。今日は、勉強会にきて良かった。藻場が大事だってことわかったもん。

**おべ様**：こうやって地域の人みんなで海の環境のことを考え大事にしていくんだ。山だって田んぼだって同じことさ。みんなで地域の環境、文化、伝統を守っていくのさ。青森県ではこういう活動を「環境公共」って呼んで、がんばってるんだよ。

**よしや君**：そうか、環境公共がハタハタさんを応援してるんだねっ。ハタハタさんもみんなもがんばってねー。